

# 鳥取県特産の芝作りと 新品種の導入による所得向上プラン



グリーンバードJの植付

大山町

赤川 進

①はじめに

私は大山の麓の山紫水明で肥沃な黒ぼく畑地の中山の地に農業をするべくして農家の長男に生まれました。  
 昭和36年に農業高校を卒業してすぐに就農しました。  
 その頃私の家は稲作麦作畑は飼料を作り酪農2頭の農業経営でした。  
 昭和40年頃より梨栽培も取り入れました。  
 昭和45年頃より梨栽培面積も増やし飼料畑が少なくなり酪農をやめて稲作と梨栽培で生活をしていました。梨栽培も災害に弱く収入が不安定なので昭和55年に150aあった梨栽培面積の半分75aの芝栽培に取り組みました。  
 芝は大雨や大風の自然災害、鳥獣の害も少なく、他の作物と比較しても栽培が容易で収穫期の幅も長く、収入が安定する作物であります。  
 私は淀江の芝取扱会社へ出荷しており、鳥取県の芝は黒ぼく畑地で他産地より高い評価を得ていました。  
 だんだん梨栽培も梨価格の低迷で収入が上がらなくなり平成5年に梨栽培をやめて稲作と芝栽培だけにいたしました。と同時に小作地を増やし芝面積も増やしてきました。  
 さらに5年前より新品種であるセンチピードグラス(ティフ・ブレア)という洋芝に取り組み、また3年前より鳥取県育成のグリーンバードJの栽培に取り組んでいます。  
 さらに大山町が推進している耕作放棄地再生事業により芝畑を拡大してまいりました。  
 今後とも新品種への拡大、そして小作地を増やし規模拡大を決意し今回のがんばる農家プランに申請を行いました。

②将来に向け目指す経営

大山町 地区は高齢化、過疎化が進み放棄地が増え美しい大山の裾野が荒れるばかりです。そこで放棄地を造成し芝栽培を規模拡大することにより環境の保全に努めます。

- 1) 高性能の機械を導入し省力化を図り規模拡大を目指します。
- 2) 成育の早いグリーンバードJを60a増殖し収益の向上を目指します。
- 3) 遊休地や荒地を改善し郷土や農地保全に貢献します。
- 4) 芝の中出し、芝の草取りなどシルバー人材センターの人を活用します。
- 5) ドリフトを低減し地域に優しい芝作りを目指します。
- 6) 給水栓の数を増やし、良質芝の収穫向上を図ります。

新しい機材を入れた時の作業内容

導入機材	作業内容
3連ギヤングモア	トラクターで牽引して芝の頭刈りをする
灌水スミレイン	夏期乾燥時に芝畑の灌水
簡易ブーム型噴口	運搬車又軽自動車に付けて除草剤散布
ブロードキャスター	トラクターに付けて鶏糞、化成肥料散布
大型トラクター(27ps)	芝改植時に耕運又ギヤングモアの牽引 芝の頭刈り年間30回×680a

③農業経営の現状

1) H24年経営耕作地面積の現状と将来

地目	所有面積	借用面積	合計面積	27年作付面積
芝	330a	140a	470a	680a
水稲	30a	—	30a	30a
全面積	360a	140a	500a	710a

2) 現在所有の機械及び施設

農業機械設備	構造・能力	数量	備 考	取得年
トラクター	22PS	1	肥料散布耕起	H19
芝モア	7PS	1	芝刈入用	S55
芝モア	7PS	1	芝刈入用	H10
芝スイパー	10PS	1	芝ゴミ除去用	H10
芝スイパー	10PS	1	芝ゴミ除去用	H15
セット動噴	8PS	1	芝消毒用	S56
マニアスプレーター	1t積	1	堆肥散布用	H14
肥料散布機	200kg積	1	肥料散布用	H2
軽トラックダンプ	4WD	1	農業用	H17
農舎	木造平屋造	50m <sup>2</sup>	農機収納用	
農舎	木造平屋造	40m <sup>2</sup>	農機肥料収納用	H17

3) 現在の労働力

労働者	続柄	年齢 才	H24年の 年間労働日数	H27年の 年間労働日数	備 考
赤川 進	本人		250日	200日	
	妻		250日	200日	
	長男		50日	50日	町内に勤め
	長男の妻		50日	50日	町内に勤め
雇人、芝の中出し			40日	55日	
雇人、シルバー			30日	50日	草取り

④ 経営の課題

1) 頭刈りの課題

新品種のグリーンバードJ、洋芝のセンチピードグラス(ティフ・ブレア)は成育が早いので普通の日本芝より頭の伸びが早いから頭刈りの回数が多くなる。  
現在使用している芝管理機(頭刈り機)は1条刈を2台で労働力2人で耕作全面積の頭刈りに10日かかり面積全てを作業しているが、梅雨期などは芝の生長が早く適期に頭刈りをする事が出来ない。したがって良質の芝の生産が出来にくい。

2) ドリフトへの課題

大山町 地区は以前より梨栽培、ブロッコリー栽培が盛んで薬害がない様にドリフトの軽減には頭をいため、風のない時などを選べば適期に防除が出来なくなり草が生じてくる。

3) 改植の課題

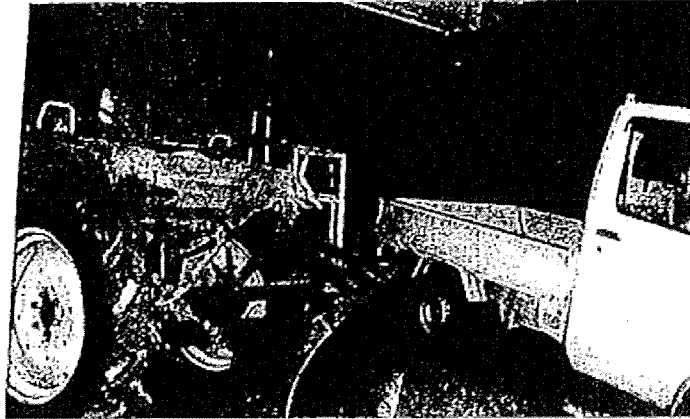
芝の生産し販売すれば芝と同時に表土も販売する事になり、土地がやせて生産性が悪くなってきます。それで改植が必要になってきます。  
その時に新品種であるグリーンバードJに改植しようと思っています。

4) 夏期の課題

近年地球温暖化により、夏期に極端に降水量が減少する。そのため乾燥期には芝の葉がよれて芝畑が白く変色してしまい生育が極端に悪くなり、収穫が遅れて収入減になる。  
そこで平成24年度に畑地のかんがい整備され給水栓が整備されればより良い芝の収穫が出来る。

5) 機械の保管場所の課題

トラクターや芝刈機、スイパーなどを保管しているが現在かなり手狭になっている。  
接触などのない保管場所が必要になって来ている。



⑤課題を改善するために

1) 芝の頭刈りの改善策

3連モアを導入する。普通モア(1連)より作業巾は3倍となり、3連モアはトラクター牽引で速度が速く芝の生長期も適した頭刈り作業が出来、良質な芝の生産が出来る。

モア性能比較	10a当り	100a当り	作業巾(cm)
通常モア	1時間	10時間	76
3連モア	20分	3時間	202

2) ドリフトへの改善策

梨、ブロッコリーにかからないよう注意を払いながら除草剤を散布していますが簡易ブームS型噴口(キリナシ除草タイプ)で散布すれば15頭口などで散布時間も短縮出来又トラックの後方部に取り付けて散布するため体にも優しい散布が出来る。



簡易ブームS型17個口散布機

簡易ブーム



(キリナシ除草タイプのノズル)

3) 新品種への改植への課題と改善策

芝の改植は土地の再生と芝の活力を取りもどし高収入の芝を改植する事にある。

土地の再生は、やせた農地の表土の少なくなった畑をもとに戻すため客土をし、表土を再生いたします。そのための表土をストックしています。



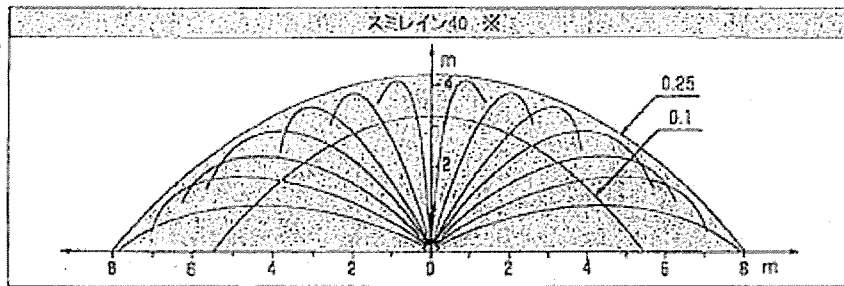
と同時に遊休地を小作して造成し増反いたします。その事により収益向上につながります。  
日本芝とセンチピードグラス(ティフ・プレア)との価額の比較。

	1束当り(1m)手取額	10a(1,000m)手取額
日本芝(高麗、野芝、グリーンバードJ)	円税込	円税込
センチピードグラス(ティフ・プレア)	円税込	円税込

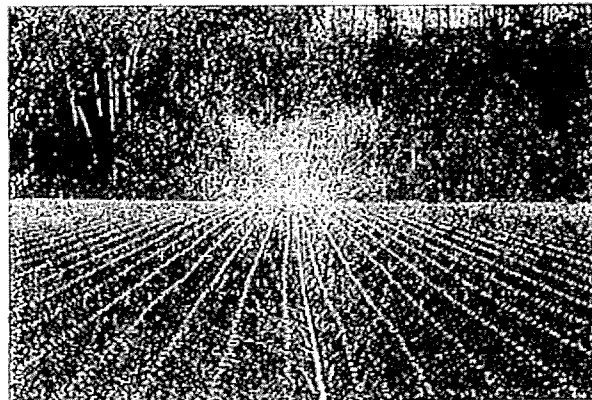
改植は元の固い芝畑をトラクターで耕起し、客土、畜産堆肥をやり何度も固い畑を耕起します。  
それには高馬力のトラクターと並びに化成肥料散布にブロードキャスターが必要になります。

4) 夏期の改善策

現在中山地区畑総事業により、給水栓が1箇所付いていますが、24年度に2箇所増設する様  
今工事中であります(25年5月に使用可能)  
工事が完成すれば3箇所の給水栓によりスミレイン3組セットで散水を行い夏期の乾燥期でも成  
育を向上させ収穫が早くなり高収入につながります。

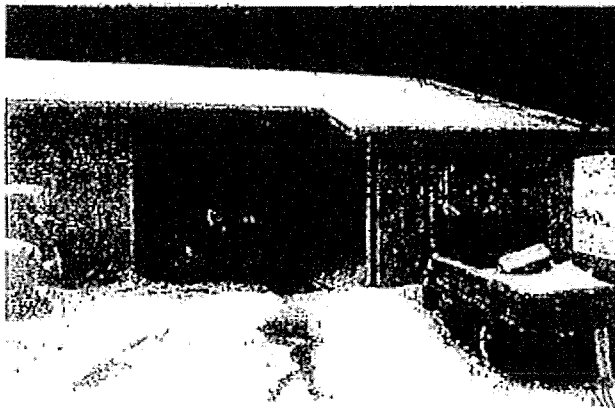


住化炭素資材研 散水資材部

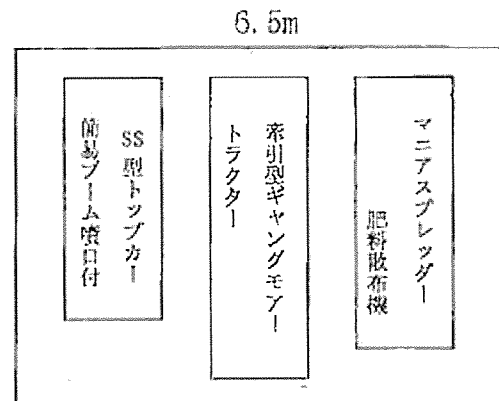


5) 機械保管場所の改善策

上記改善策に必要な機械を導入した場合、現在の農舎では入庫が困難であり、今後長年の間  
大切に管理運営して行くためどうしても車庫が必要になります。



6) 後継者の考え方



6) 後継者の考え方

現在長男夫婦が2人共大山町内に勤めていて土、日の天気の良い日に頭刈りなどを手伝ってくれます。仕事をしながら話しをしますと将来退職したら他の作物ブロッコリーや白ネギ栽培は難しく出来ないが芝栽培はなれてきたので芝栽培は出来ると良く手伝ってくれます。

⑥事業導入計画書

事業導入計画

○自己導入

◎がんばる農家プラン補助導入

	平成25年	平成26年	平成27年	事業主主体関係機関
3連ギヤングモア導入	◎			本人1/2、町1/6、県1/3
簡易ブームS型噴口導入	◎			本人1/2、町1/6、県1/3
ブロードキャスター導入	◎			本人1/2、町1/6、県1/3
灌水資材スミレイン導入		◎		本人1/2、町1/6、県1/3
大型トラクター導入		◎		本人1/2、町1/6、県1/3
車庫の導入		◎		本人1/2、町1/6、県1/3
地域シルバーの雇用	○	○	○	本人
借用地の規模拡大	○	○	○	本人
給水栓の整備	○			国、県、町、本人
中古パイプハウス車庫				本人

支援事業の内容

	規格性能	導入年	事業費 (単位千円)	負担区分
3連ギヤングモア	トラクター牽引	平成25年	1,562	本人1/2、町1/6、県1/3
簡易ブームS型噴口	15頭キリナシ	平成25年	65	〃
ブロードキャスター導入	200Kg	平成25年	250	〃
灌水資材スミレイン	3組分	平成26年	352	〃
大型トラクターターフタイヤ付	27PS	平成26年	4,642	〃
車庫の導入40㎡	3台納車	平成26年	1,500	〃

導入年変更の理由

灌水スミレイン 25年は乾燥期が終り26年に導入する。

大型トラクター 25年は作業のピークが終りに近ずき26年に導入する。